



アクセスみなみ

ボランティア活動を応援します

自分の特技を生かして何かできないだろうか？

時間ができたので、ボランティアをしてみたい。何かを始めたい。

こんな相談が増えています。“思い立った時に活動できるチャンスを提供していきたい”と、みなみ市民活動・多文化共生ラウンジでは考えています。

CHANCE 1

南区「街の先生」への登録

自分の特技を生かし、生涯学習の講師として活動してみませんか。登録すると「街の先生ガイド」への掲載をはじめ、1日体験講座でのPR、研修会でのスキルアップと、活動に向けての準備ができます。依頼があればコーディネートを行います。

新規登録した「街の先生」による1日体験講座を6月30日(土)～7月2日(月)の3日間開催します。

CHANCE 2



南区「外国人支援ボランティア」に登録

「以前海外でお世話になったので、今度は日本で役に立ちたい」など、“外国人のために何かしたい”と思っている人には「外国人支援ボランティア」を紹介しています。言葉が不自由で生活に支障をきたしている外国人の方に対して、通訳や翻訳、日本語学習の補助などの支援を行っていただきます。

みなみラウンジで活動する日本語教室や学習支援教室へのコーディネートも行います。日本語を教えるボランティアのためにはスキルアップ講座なども開催(3面記事参照)しています。言語が堪能な人には市民通訳ボランティアのご案内もしています。

CHANCE 3

「地域デビュー応援講座」に参加



ボランティアをしてみたいけど・・・なにからやってもよいか迷っている方。昨年はマジックをきっかけに地域に入る講座を開催(2面記事参照)しました。今年も楽しく地域デビューできる講座を計画中。

CHANCE 4

「生涯学級運営委員」に応募

「講座を企画して仲間を見つけよう」をキャッチフレーズに、南区では生涯学級運営委員を募集中です。

春に向かって“やる気”に満ちてきた方、是非ご応募下さい。詳しいテーマ・対象は2面をご覧ください。

CHANCE 5

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジに相談

福祉関係のボランティアをしたい方や本当に何をしたいかわからない方は、電話・窓口でご相談下さい。当施設は浦舟複合福祉施設内にあり、社会福祉協議会・ケアプラザなど他施設へと繋ぐことも可能です。いろいろな情報・資料をもとに相談にのっています。

第22回 南区桜まつりイベント

3月31日(土) 10:00～15:00

大岡川プロムナード、南公会堂、横浜商業高校、下の前公園を会場に模擬店、バザー、物産展など楽しいイベントがいっぱいです。みなみ市民活動・多文化共生ラウンジも南センターの行政ブーステントに出展します。遊びに来てね。

講座を企画して仲間を見つけよう

<テーマは・・・>

子育て世代の自分育て 男性の仲間づくり 本や読書 外国の食や文化 その他

<対象は・・・>

- ママを元気に、家庭や地域を明るくしたい人
- 趣味や地域活動を一緒にやる仲間を探している人
- 課題本を読んで他の人と本の話をしたい人
- 外国や日本の文化や食を通して交流したい人
- 歴史や街歩きに興味がある人

「いきいきママ講座」

「自分みがきの男塾」

「本と対話を楽しむ隊」



写真は23年度学級の様子です

《申込み・問合せ》

「住所・氏名」「テーマ」を記入して
 ハガキ・FAX・メールで申込み
 〒232-0018 南区花之木町 3-48-1
 南区地域振興課区民活動支援担当
 電話 743-8197 FAX712-0404
 メール:mn-gakkyu@city.yokohama.jp

登録団体拝見

「みなみマジックたのしい会」



この会は、23年度「地域デビュー応援講座」“マジックで地域デビュー”に参加した「マジックの面白さを更に深めたい」思いの15名で活動しています。練習日は第2,4木曜日 10:00~12:00。講座終了後も担当講師(写真中央)に指導をお願いし、教わったマジックの実習や新しいマジックへの挑戦、会員相互のマジックに関する情報交換などを行っています。マジックはタネを教えてもらっただけでは、見ている人に感動を与えることは難しく、話術や演技力が伴って初めて、マジックの奥深さやおもしろさを伝えることができるようになります。そのため、頭で理解するより、身体で覚えていく必要があります。皆と練習しているといろいろなことに好奇心や感動が湧いてきます。

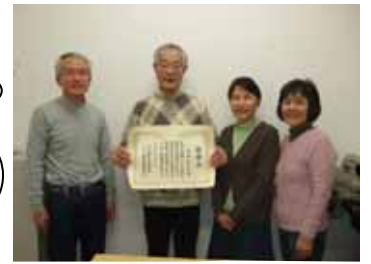
昨年は“納涼祭”“みんなの「わっ！」フェスタ”に参加し人前での披露にも慣れてきました。今後はマジックのレパトリーを増やすとともに、各種施設のイベント等でボランティア活動を行い、地域の方々との交流を図っていきたくと思っています。



南区ボランティアの集いに参加

街の先生こんにちは

南区「街の先生」
 村田良夫さんに横浜市
 社会福祉協議会より感謝状が授与されました。



村田良夫さんと「歌声喫茶 in うらふね」の皆さん

平成23年11月22日の第31回横浜市社会福祉大会にて、村田良夫さんの永年の福祉活動が表彰されました。

現役30代の頃より休日には点字ボランティアをはじめ障がい児の送迎ボランティアなど様々な活動を続けていました。

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジにはギター演奏の街の先生として登録の一方、ラウンジ主催の地域デビュー応援講座を受講し、事後グループ「歌声喫茶 in うらふね」を立上げ、グループとしても活躍しています。このグループは毎月、浦舟地域ケアプラザから「歌声広場」の出演を依頼されています。毎回40人から多いときは60人にのぼる参加者で大人気です。曲の合間の楽しいお話に、参加者は「村田さんのおしゃべりがとっても好き」。デイサービスの送迎の方も、「歌の日は皆さん元気になって帰られますよ」との感想。村田さんは無償ボランティアですが、「きょうも楽しいことができる！」と思えることがご褒美だそうです。「歌声喫茶 in うらふね」の皆さんも「一緒に歌を歌う活動が楽しくて」と話していました。

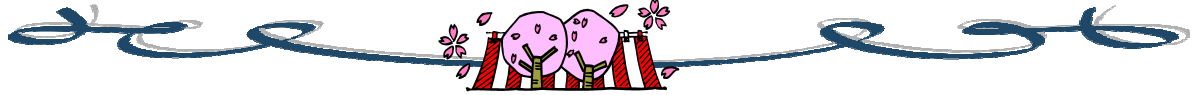
日本語ボランティアスキルアップ講座 特別講義が大好評！



南区では毎年、外国人に日本語を教えるボランティアのために、講座を開いています。

今年も入門編とスキルアップ編とを合わせて12回続きで開催しました。

入門編は、初めて外国人に日本語を教えようとする方



地域活動応援講座「NPO法人って何？」
好評のうちに終了しました。



2月18日、25日の両日、藤沢市民活動推進センター長の手塚明美氏を講師にNPO法人に関する講座を開催しました。現在、法人化に向けての手続きを開始している、法人化すべきかどうか迷っている、法人を取得した後の事務に悩んでいるなどの団体、またそもそもNPOとは何か学びたい人が、熱心に話を聞きました。

NPO設立認証手続きの具体的な話や、4月から施行される「改正NPO法」についても説明を受けました。

一番大切な設立趣旨書は中学生でもわかることばで簡潔に、いつでも説明できるように書くことが重要など、極意も教えてくれました。

講座終了後、3月には講師による個別相談会を設定。6団体が実際の設立に関する具体的な相談を受け、法人化への道に向けてスタートします。

のための講座に対し、スキルアップ編はすでに活動している方を対象に、実際に困っている課題や、もうちょっと工夫したいところのヒントなど、ベテランの講師により実にユニークなテーマ別で研修しました。

なかでも2月6日には、東京外国語大学教授伊東祐郎先生をお招きし、「地域の外国人と共に暮らすために - 地域参加のための日本語学習支援 - 」と題する特別講義を行いました。当日小雨が降る中、厳しい寒さにもかかわらず、40名を超す参加者がありました。

分かりやすい説明と新鮮なワーク手法、特に写真を使った「フォトランゲージ」は、大変勉強になり、今後の教室活動に取り入れたいとの声が多く聞かれました。

最後に、「地域の日本語支援者に期待するもの」として、学習者の自尊感情の重視、学習者とサポータの協力の重視、課題提起型の対話重視という先生のご提案に、受講者一同大きく頷きました。

日本語ボランティア講座入門編を受講して子供の頃、好きな教科は何かと尋ねられると迷わず「国語」と答えていました。だから「日本語ボランティアは出来る。」そんな思いからこの講座の受講を決めました。

しかし、受講開始後すぐに“国語”と“日本語”は違うという事に気づかされました。学校で習った動詞の五段活用などは、存在しません。その代わりに日本語学習独自の文法分けによるグループや「な」形容詞(いわゆる形容動詞)などを先ず教え手が覚える必要があります。軽率だったかもしれない……。そんな焦りにも似た気持ちが湧いてきました。

ところが、実技に入る(写真:楽しそうなワークの様子)とそんな気持は消え、教え方を工夫し楽しめるようになりました。一例を挙げると「高い・低い」ならば背の高い人と低い人に並んでもらうなどです。

また、日本語学校は皆を同じ目標に向かわせませんが、ボランティアは学習者の希望に沿って学習が出来るなどの違いも分かりました。今後のボランティア活動をする際の心構えが出来、とても良かったと思います。



市民活動登録団体紹介



大岡川 FunClub

代表:鈴木佳昭 事務局長:持留良和

連絡先:Tel045-715-2831

:Fax045-715-2442



大岡川FunClubへの思い

大岡川をきれいにしたらいろんなことができるね。川がきれいになれば川を汚すこともなくなるだろうし、川の中で安心して遊ぶこともできる。それを次の世代に引き継いでいけば、今の子供が大人になった時また子に語る。その繰り返しができる世の中になれるよう、大岡川をいつくしみ育ててゆきましょう。一緒に汗をかいて、いろんな楽しいことを考えながら大岡川とつきあっていきたいと思っています。

団体のあゆみ

1995年、南まつりの前身“なんだべ祭”の中で「大岡川をきれいにしたらいろんなことができる」と考えた有志が集まり、設立されました。2011年度会員数48名。年会費1,500円。HP:大岡川FunClubで検索

活動案内

1. 大岡川クリーンアップ(年4回)

3月・5月(自然観察も行う) 9月(夏草刈りも行う) **カワセミ**

11月(大岡川まるかじりの一環)

2. 自然観察

1月:冬鳥中心の野鳥観察会

6月:大岡川源流域でホタル観察会

7月:カワセミ観察会とリバーウォッチング(水中の生物観察)

11~12月:源流域で紅葉めぐり

3. 大岡川なべ

11月:クリーンアップ後、源流域で取れた野菜、日の出湧水、地元商店街で調達した味噌、鴨肉、豆腐などの食材で「大岡川なべ」を作り、1年の活動や大岡川のことを語りながら皆でいただきます。



リバーウォッチング。エビやカニも見られました
クリーンアップでの成果、自転車まである。



団体の概要

横浜南区内を流れる大岡川を大切な自然環境資産として捕え、自然・環境・福祉・歴史・文化の各視点から会員の得意分野を生かし、遊び心(Fun)を持って、小学生から高齢者まで参加し、世代間交流や地域交流を交えながら活動しています。これらの活動が評価され、「横浜まちづくり功労者賞」「第8回環境保全活動賞」「第20回よこはま水辺賞」を受賞しました。

また会報「大岡川232from6to1」は平成7年001号発行以来100号を超え、16年間におよぶ活動が記録されています。大岡川流域の各学校に送付されるほか、南図書館でバックナンバーが閲覧できます。

<お知らせ>

『アクセスみなみ』に
活動紹介や仲間募集を掲載しませんか？

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジに利用登録すると、各団体が行っている市民向け講座やイベント、活動などをPRすることができます。

次回原稿〆切5月中旬(6月発行)。

6月以降に開催するもので、政治・宗教・営利を目的とせず、公益性のある内容に限ります。詳しくは、みなみ市民活動・多文化共生ラウンジへお問い合わせください。



みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ

〒232-0024 南区浦舟町3丁目46番地 浦舟複合福祉施設10階

TEL 045-232-9544、045-242-0888(外国語対応) FAX 045-242-0897

<http://tabunka.minamilounge.com/>

相談時間: 午前9時~午後5時

相談言語: 日本語・中国語(毎日)、英語(水)、タイ語(木)、タガログ(金)

休館日: 第3月曜日 および年末年始(12/29~1/3)